

Sustainable Report No.070

食品ロスを解決する 傷梨ビール



サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

■ 課題の現状／経緯／影響

- **1年間の食品ロスは、世界で13億トン**、日本では612万トン=東京ドーム約5杯分が発生している。
- 家電製品や日用品と同様に、食品も品質に全く影響がなくても梱包材が**傷ついただけで商品価値が下がり、廃棄**されてしまう場合がある。
- このまま食品ロスを放置して適切な分配を図らなければ、人口増加による食糧危機に対して大量の食べ物が無駄になるだけでなく、廃棄物処理による**環境悪化**も懸念される。

■ 世界の食料廃棄



出典：農林水産省

■ 捨てられてしまう傷ものの果物



出典：サントガーレン有限会社

▶NEXT：傷梨からつくったビール

■ 実行者／解決方法／残る課題

- 神奈川県厚木市の**地ビールメーカーであるサントガーレン**有限会社は、自社製造したビールを酒屋のほか商業施設や百貨店、オンラインで販売している。
- JA担当者や農家より相談を受け、表面に傷がつくなどして**出荷不可となってしまった“訳あり梨”**を預かり、「どんな条件でも最高のものを造る」というポリシーのもと有効活用するビール商品を開発。
- 2019年は台風による落下、2020年は長雨と日照不足により食感を損なう蜜症など、収穫時期に発せられるSOSに応え、以後も**毎年の期間限定商品**としてリリースしている。
- メーカーが主体となった現状のPRには、農家の顔や声も見えるようになる余地があるのではないかと。

■ 和梨のヴァイツェン



出典：左右ともにサントガーレン有限会社

■ 代表取締役 岩本伸久氏



▶NEXT：道の駅で「地物の色」を増す

■ 弊害の原因／理想／企業施策

- 一般的に、原料生産者よりも製造販売者が商品のブランディングを担うことは多いのではないかと。
- こだわりの製法や仕上がりに加えて、原料から作り手が明確な**ローカル商品としても魅力**は大きく、これがPRに活かされることが理想である。
- 現行と並行して、農家自身が**農産品直売所や道の駅で青果と並べて出品**するなど、地物としての認識が深まり相乗効果が期待できる。
- 製造販売者は協業者である生産者に対してより還元できるよう、セット販売などの工夫も考えられる。

■ 参考：生産者で選べる「食べチョコ」



出典：株式会社ビビッドガーデン

■ 参考：道の駅清川の産直売り場



出典：厚木市観光協会

本レポートをご覧いただき、ありがとうございました



傷リンゴを活用した アップルパイ風味ビール

このビールに使っているのは長野県伊那市の“訳ありりんご”です。収穫前に落果し表皮に傷ができてしまったもの、色ムラがあるものなど、難があって売り物にならないりんごを買い取ってビールに加工しています。こうした廃棄りんごは収穫量全体の3分の1量にもなると言われ、その有効活用は農家貢献につながっています。

引用：サントガーレン有限会社

■ 参照・引用資料

- 農林水産省, 「aff20年10月号」, 2022年11月17日参照 (https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2010/spe1_01.html)
- サントガーレン有限会社, 「和梨のヴァイツェン」, 2022年11月17日参照 (<https://www.sanktgallenbrewery.com/pear/>)
- サントガーレン有限会社, 「サントガーレンの歴史」, 2022年11月17日参照 (<https://www.sanktgallenbrewery.com/history/>)
- 厚木市観光協会, 「道の駅清川（清川）」, 2022年11月17日参照 (<https://www.atsugi-kankou.jp/site/yamanami-kikou/michinoekikiyokawa.html>)
- サントガーレン有限会社, 「アップルシナモンエール」, 2022年11月17日参照 (<https://www.sanktgallenbrewery.com/apple-cinamone-ale/>)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は株式会社小川電機に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。